

「いくべえカー」 運行までの軌跡

佐野川さっそくいこう会
代表 杉本正夫

佐野川地区について



- ◆神奈川県最北地区
- ◆陣馬山、生藤山、鷹鳥山など人気のハイキングコースがある
- ◆主要道路は東西に分かれており、それぞれ東京都八王子市や山梨県上野原市につながっている
- ◆倉子峠や矢沢峠を越えないと東部と西部に行き来できない
- ◆居住地の標高は240～600mと高低差が激しく、山・川・坂・谷ばかり
- ◆昼夜の寒暖差が激しく、茶葉の生産に適している。ほかに柚子なども特産品として栽培している。



神奈川県立陣馬自然公園に
指定されている山間地

さっそくいこう会

「さっそくいこう会」は、「佐野川の足を考える会」の愛称です。
第1期の保健福祉部会からの「**地域の実情に合った交通手段**」を
検討するという宿題をもとに、**佐野川をモデル地区**として
佐野川の実情に即した交通手段を検討するために誕生しました



佐野川の足を考える会



いくべえカー運行までの経過

平成22年5月	第1期まちづくり会議	①環境保全部会 ②地域資源活用部会 ③保健福祉部会
平成24年5月	第2期まちづくり会議 「会議体から脱却し、実働 部隊として結果を出そう」	① 藤野地域カサポート部会」 ② いきいきサポート部会」 ・緊急連絡カード普及促進事業 ・子どもまちづくり会議の開催 ・ 地域の実情にあった交通手段の検討
平成24年9月	「さっそくいこう会」発足	佐野川地区をモデル地区にスタート
平成24年11月	住民アンケート実施	ラファエル会に相談し協力を快諾してもらう
平成25年7月	利用申込みの調査	39名の申込みがあった
平成25年10月	第1次実験運行	10月～12月まで。課題も見つかる
平成26年1月	第2次実験運行	1月～3月まで。地域活性化交付金を活用
平成26年4月	本運行開始	32名の利用者からスタート！
平成30年現在	運行継続中	25名が利用している

平成24年11月
佐野川住民アンケート実施



調査対象 255世帯
回答世帯 237世帯 **回答率 92.9%!**

- 佐野川地区で5つの施設を運営
- 利用者の送迎車両を多数所有

- ✓ 自動車を持っている世帯が9割
- ✓ 移動手段持たない人が150名
- ✓ 約60名が外出困難者

相談



佐野川地区にある老人福祉施設
などの送迎車を活用して
自分では移動手段がない高齢者
などの買い物や通院に
利用できないか



いくべえカーについて

困った顔

薬・医療



地域特産の
お茶の色

買い物

いくべえカーのマーク

「佐野川地区交通対策モデル事業」

公共交通機関に頼らない“地域力”や“
地域の絆”を活用した山間地独自の交通手段

第1次実験運行開始 ⇒ 課題が見えてきた

- ✓ 降雪などの運休を連絡する仕組み
- ✓ 指定日に利用しない場合の運転手への連絡方法
- ✓ 利用申込はしたが、実際には使用しない人がいた

第2次実験運行開始 ⇒ 電話連絡員を設置

- ✓ 登録者を見直し、本当に必要な人が利用できるように
- ✓ キャンセル待ちの対応もできるように
- ✓ 運転手さんや相乗りの方との会話を楽しみに
- ✓ 電話連絡員の費用は地域活性化交付金を活用

佐野川地区に合った“いくべえカー”の形が見えてきた



平成26年4月 本運行開始！

ご清聴ありがとうございました

さっそくいこう会は
これからも
地域の課題に取り組んでいきます